

253) くじゅうくりはま  
九十九里浜

心では好きだったけど 言葉ではうまく言えない  
荒らくれる海に向かって あの人の名前を呼んだ  
こんべき紺碧の海の答えは しおさい潮騒のざわめきばかり  
哀しみの九十九里浜 海を見て時は流れた

心では愛してたけど 言葉ではなにも言えない  
くりかえすどとう怒濤の波は 今日の日わたしの心  
くだ砕け散る波のごとくに こわ壊れてく愛が空しい  
哀しみの九十九里浜 サーファーの海が広がる

空よりも碧い海から いつかまた愛が生まれる  
雲よりも白い波から 新しい何かが育つ  
あの人が残してくれた 思い出を海に流そう  
哀しみの九十九里浜 荒らくれる海に会いたい

暮れてゆく空の言葉は ものいわぬ星の輝き  
消えてゆく私の愛は つかの間の夢のそらごと  
おしよせる波のごとくに 永遠の愛に酔いたい  
哀しみの九十九里浜 海からの便りは絶えた

さよならの手をふりながら 思い出に別れを告げた  
思い出の九十九里浜 海からの便りは絶えた